

平成30年度 赤穂市学校評価報告書

学校園名 赤穂市立尾崎小学校

1 本年度の学校経営方針

学校教育目標：自ら学び、夢を追い続ける児童の育成 ～強い体と意思を持ち、何度でも挑戦する児童の育成～	
I チーム尾崎小としての学校運営（協働する職員集団） 「よいものを光らせる」「よいものを認め、広める」	1 主体的に学び合う授業を創造する。 2 すべての子供が安心して学べる安全な環境をつくる。 3 教育の専門家として常に学び続ける。 4 気づいたことは声に出して、共有していく。 5 チームの一員としての誇りと自覚を持って職務を遂行する。 6 効率的で活気あふれる学校運営を行う。 7 いじめを防止し、早期発見・早期解決に全力で取り組む。
II 確かな学力の定着と向上（授業の改善と充実）	1 学びの基礎基本の徹底をする。 2 子供が主体的に学ぶ授業への改善 3 学習習慣を確立する。 4 体力の向上を図る。 5 情報教育を推進する。 6 国際理解教育を推進する。 7 伝統と文化に関する教育の充実を図る。 8 キャリア教育を推進する。 9 環境教育を推進する。 10 防災教育・安全教育の充実を図る。
III 自尊感情を育み、望ましい人間関係を築く。（人権教育の充実）	1 豊かな心を育む。 2 道徳的資質を醸成し、実践力を育む。 3 人権教育・多文化共生社会の実現をめざす教育を推進する。 4 支持的風土を醸成する。 5 特別支援教育を充実する。
IV 教育専門職としての資質を高める。（研究・研修の充実）	
V たくましい地域人を醸成する。（家庭・地域との連携）	1 社会に開かれた教育課程を創造する。 2 学校ホームページや学校だよりにより、地域の人たちの学校への理解を深める。 3 地域との交流を深め、尾崎の町に愛着と誇りを持つ子供を育てる。 4 地域・保護者・赤穂東中学校区7校園所・専門機関との連携を強化する。

2 本年度の学校(園)重点目標

- 「よいものを光らせる」「よいものを認め、広める」ことを徹底し、自分でできることを増やしていく。
- いじめ防止に向けた体制や職員の意識を強化し、取組を徹底する。
- 学習内容のつまずきや課題を明確にし、授業改善に取り組むことで確かな学力の定着と向上を図る。
- 地域と共にある学校づくりに向け、地域との交流を深め連携を強化すると共に、地域住民とのふれあいを通してキャリア教育や伝統・文化に関する教育を推進する。

総合的な学校園関係者評価

- ・6年間で、心豊かに、体力をつけたくましい子に育てていく姿に感謝する。今後も尾崎の町に誇りを持って大きくなっていく人間になるよう、地域との連携を深めていきたい。
- ・一部の教師の発案から始まった尾崎名所探訪が、30年度には全校児童が参加するという一大イベントに発展。学校・PTA・地域が一体化して協力することにより、尾崎地区の活性化並びに子どもたちの地域愛の向上に繋がった。
- ・小学生時代にいやな思いをして中学生になり不登校になっている生徒がいる。いじめがあったのか勉強で分からないところがあったのか、このような状態で進学することは不幸なことである。
- ・学校に来るのが楽しいという児童が一人でも多くなるように、先生方の情報交換や研修をお願いしたい。尾崎が好きという大人になるために、地域の人材を活用すれば良いと思う。
- ・経営方針、重点的な目標だけでなく「あいさつをする」など、校長先生からより明確な目指す児童像を年度当初に総会などでお聞きすることができ、それらに向けた取組もあり、新しくなろうとする尾崎小学校を見ることができた。来年度以降への継続・発展が楽しみである。
- ・学校経営方針に従って概ね運営されていたと感じる。特にVの3「地域との交流を深め～」については、高齢者大学と合同の県警音楽隊の鑑賞があったり、尾崎ウォークラリーがあったりと、今年度は特に積極的に行われていたと思う。
- ・先生方が子供たちの良いところを認め、じっくり関わっているのが安心できる。重大ないじめもなく、児童や保護者が言いやすい環境づくりをしてくれているように思える。子供たちも先生方も楽しく過ごしているように見受けられ、そのために相当な努力をされているのだと思った。私たちにも何かできることがあればサポートさせてもらえたらと思わずにはいられなかった。良い学校だ。
- ・経営方針がすてきだと思う。すてきな大人になる子がたくさんいれば良いなと思う。子供と休み時間に体を使って一緒に遊んでくれたり話も聞いてくれたりするので本当に先生方には感謝している。大変なこともあると思うが、これからも体に気をつけてがんばってほしい。

3 自己評価結果（A～D） A：達成した B：ほぼ達成した C：あまり達成できなかった D：達成できなかった

観 点 (重点目標)	評 価 項 目 (学校園・教師の取組) 評 価 指 標 および 目 標 値 (期待される姿)		評価資料	達成状況	改善の方策
授業の 改善と 充実	項目 指標	基礎基本を明確にして授業を進めている。----- 授業はわかりやすく、楽しい。	保護者・児童アンケート	A	・朝学習や放課後の時間を有効的 且つ計画的に活用し，基礎基本 の定着を図る。 ・校内研修を積み重ね，分かりや すい授業が展開できるよう，発 問や指導方法の実践に取り組む。 ・つまずきやすい学習内容の分析 をし，その対策を検討して手立 てを行う。
	項目 指標	指導方法の工夫改善に努める。----- 授業がよくわかる。	保護者・児童アンケート		
	項目 指標	個に応じた指導を意識し，推進する。----- 一人一人に合った指導をしているか。	自己評価 児童アンケート		
	項目 指標	指導と評価の一体化に努める。----- 明確な目標，多様な評価を行う。	自己評価		
	項目 指標	授業時数の確保に努める。----- カリキュラムに準拠して指導する。	自己評価		
	項目 指標	実態に応じて工夫し，特色ある教育活動に努める。----- 尾崎ならではの教育活動の展開。	自己評価 児童アンケート		
	項目 指標	体験的，問題解決的な学習に取り組む。----- 目的を明確にして効果的な活動を仕組む。	自己評価 児童アンケート		
	項目 指標	課題教育の推進に努める。----- 国際理解・環境・福祉・情報・健康教育	自己評価 児童アンケート		

学校園関係者評価

◎：適切である ○：ほぼ適切である △：あまり適切でない ×：適切でない		
自己評価は適切か	改善方策は適切か	課題と来年度具体的改善方法
◎	◎	・教師一人一人の負担も大きい中、良くやっていると思う。欲を言えば、授業中の児童のざわつきがもう少し静かになったらと思う。 ・基礎学力は将来に向けてしっかり定着させてほしい。学校での取組だけでなく、成長するにつれ一人で学習する家庭の時間も大切だと思う。クラスによっても違うと思うが、総じて宿題が少ないように思う。家での勉強＝宿題と考える児童もいると思う。 ・朝学習のおかげで漢字等の基礎学力は伸びたと思う。その反面、今年度は朝読書が少なく、本を借りる回数も減ったと感じた。昨年までは朝読書に用意した本を自宅や休み時間に読んでいたが、今年は読書時間が大幅に減少した。本に触れるきっかけになる朝読書をもう少し増やしてもらえたらと思う。 ・自分の子供について言えば、授業の内容は理解している様子であり、先生を信じ学校も嫌がらずに行っている。信頼関係がしっかり築けていると思った。

観 点	評 価 項 目（学校園・教師の取組）		評価資料	達成状況	改善の方策	自己評価は適切か	改善方策は適切か	課題と来年度具体的改善方法
	評 価 指 標（児童・生徒・園児の状態・行動）							
人権教育 の充実	項目	全領域の中で推進する。	自己評価	A	・いじめアンケートを定期的に実施し、いじめや不登校の未然防止や早期発見に努める。 ・気になる児童の情報を共有し、指導体制を整備して、共通理解のもと職員全員で指導にあたる。	○	◎	・情報の共有化はぜひ確立してほしい。 ・いじめアンケートの実施回数，時期，アンケート方法，内容など検討を繰り返し，より有効なものに改善をしていく。 ・発達障害への理解を保護者にどう行っていくのか。赤穂特別支援学校や，関西福祉大学との連携，協力はできないのか。学年ごとの保護者講演会とか。 ・特別支援学級のことについて，情報を共有していきたい。理解を深めることでより適切な対応ができる。 ・支援学級について，行動障害の子はそれぞれ異なった特性があるので，各子供に会った対応をしてもらえたらと思う。ゲームで集中力がきたえられる物，漢字が学べる物などあるので使用し，生活面・学習面に対応してもらえたらと思う。パッドなどを使って学習するのも有効だと思う。 ・問題があれば複数の先生が指導にあたっていると聞いたので，いろいろな視点，チームワークで問題の解決が期待できるのではと思った。
	指標	計画的に実施する。	児童アンケート					
	項目	生きる力を育むよう積極的に取り組む。	自己評価					
	指標	常に目をかけ，声をかける。	児童アンケート					
	項目	いじめや不登校問題を解決しようと努める。	自己評価					
	指標	日常の観察，研修の充実，感性を磨く。	保護者・児童アンケート					
	項目	児童に寄り添う指導に努める。	自己・保護者・児童アンケート					
指標	特別な支援を要する児童に適切に関わる。	保護者アンケート						
項目	特別支援教育の啓発に努める。	保護者アンケート						
項目	保護者や地域住民に理解を促す。							
研究・ 研修の 充実	項目	自分で課題意識を持って研修に取り組む。	自己評価	A	・教員一人一人の得意分野の研究を進め，校内研修でその研究を広めていき，授業力の向上に努めていく。 ・朝マラソンを継続して，さらに発展させていく。	○	◎	・赤穂義士，義士魂についての研修をしてほしい。 ・若い先生や経験のまだ少ない先生方も，学級経営や授業に困ることが少しでも減っていくようにしてもらいたい。 ・尊敬できる先生方である，と子供たちの話してくれる内容からくみ取れる。○○先生は○○が得意，すごい，など子供たちはよく見てあこがれていた。
	指標	課題を明確にして，研究している。	自己評価					
	項目	豊かな人間性の形成に努める。	自己評価					
	指標	自己研鑽のための様々な活動に参加している。	自己評価					
	項目	日常的に体力向上に努める。	自己評価					
	指標	健康づくりに配慮している。	自己評価					
	項目	赤穂義士について研修する。	自己評価					
指標	赤穂義士について適切に指導できる。	自己評価						
項目	教育公務員としての自覚を持って生活する。	自己評価						
指標	教育について，常に興味関心を持っている。							
勤務時間 の適正化	項目	ノー残業デー，ノー会議デーの実施に努める。	自己評価	B	・定時退勤日を設定し，全職員の意識統一のもとノー残業デー，ノー会議デーの完全実施に努める。 ・会議や行事等の運営について見直し，精選を進めて業務の効率化を図り，子どもと関わる時間の確保に努める。 ・文書関係はサーバー上に整理して保存し，業務の効率を上げる。	◎	◎	・定時退勤日の完全実施を期待する。教職員の健康体があって，子供達との向き合える時間が保てる。 ・同じ残業でも，効率的に進めていく内に残業が必要な時間分割，時間短縮ができるようになると思う。 ・多くの時間を子供に割いていることに感謝している。 ・校長先生をはじめ，先生方の努力が伝わってくる。PTAでも何かできることがないかと思う。
	指標	毎週木曜日は早く帰る。	自己評価					
	項目	効率的に仕事を進める。	自己評価					
	指標	時間を意識した仕事をする。	自己評価					
	項目	子どもと向き合う時間の確保に努める。	自己評価					
	指標	子どもとともに過ごす時間が多い。	児童アンケート					
	項目	校務のデータの共有化を図る。	自己評価					
指標	学校のデータとして一元管理する。	自己評価						
項目	同僚と協働し，明るい職場環境づくりに努める。	自己評価						
指標	自分を表現する。互いに笑顔で働く。							
家庭・ 地域と の連携	項目	学校での様子を伝えるよう努める。	保護者アンケート	A	・学校だよりを地域の方々に回覧し，またホームページの充実を図るなど学校の取組について情報を発信していく。 ・地域からゲストティーチャーを積極的に招き，地域についての学びを深めていく。 ・保護者との連絡を密にして，信頼関係を強いものにしていく。	○	◎	・ゲストティーチャー確保についての地域協力を検討したい。尾崎を好きになる子を一人でも多く育てたい。 ・各地区少子高齢化により，児童園児がいない地区があり，学校だより等回覧物が定期的に配付されると，気になって見ている人は多いと思う。 ・価値観も多様化しており，様々な考え方がある中で，早期に担任と保護者の信頼関係を築けるような取組がいるのではないかと思います。 ・忙しいとは思いますが，是非地域の行事にも来てほしい。 ・ホームページに学校だより以外のお便り（学年だよりや重要性の高いお便り）が掲載されればもっと便利になる。
	指標	家庭への連絡を正確に適切にする。	保護者アンケート					
	項目	学年便りや家庭連絡等，相互理解を図る。	自己評価					
	指標	定期的に発行する。保護者の願いを知る。	自己評価					
	項目	尾崎が大好きになる仕掛けをする。	自己評価					
	指標	授業の中に郷土の学習を仕組む。	自己評価					
	項目	電話，来訪者に丁寧な接遇をする。	自己評価					
指標	明るく，さわやかな接遇をする。	外部評価						
項目	保護者とともに熱意ある指導に努める。	自己評価						
指標	地域行事に積極的に参加する。	外部評価						

・勤務時間の適正化において課題がある。子供と向き合い，創造的な授業や職務を遂行していくために，時間の確保や勤務時間の適正化に向けさらに取組を進める必要がある。

・具体的には分からないが，地域の一員としてできることは協力していく。
・交通安全教育のあり方について，自転車通学ではないので難しい面もあるが，自転車マナーについては大人（特に高齢者）のマナーも問題になることが多いので，警察や防犯，自治会，老人会などとの合同での講習会・講演会など，地域を巻き込まないと小学生だけではなかなか進まない。
・SNSについて，最近子供主体で尾崎小ルールができたのは非常にいいことだと思う。そこで来年度は，その効果をアンケート等で検証する機会を設け，どんどん低年齢化しているSNSについて臨機応変なルール変更を期待する。
・活気ある尾崎小に期待している。1年間ありがたかった。今後も保護者として学校運営を見守り，協力していく。